

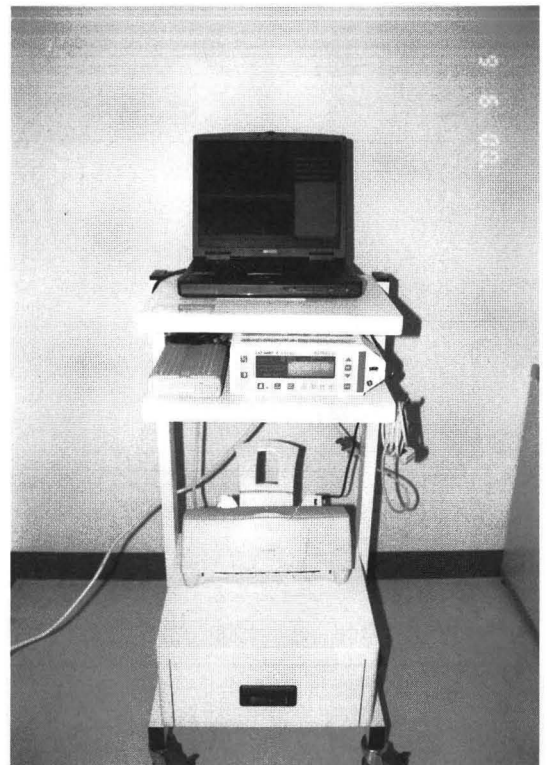
コスモプラス(CO₂SMO PLUS) 8100 を更に活用するために

東北大学医学部附属病院周産母子センター 堺 武男

新生児領域の呼吸管理において、特に脆弱な肺の volutrauma をさけるために一回換気量の管理は重要であり、同様に CO₂ の管理も極めて重要である。それは hypercapnea による循環系に与える影響と共に、hypocapnea による脳血流低下による白質へのダメージ (periventricular leukomalacia: PVL) がこの領域で大きな問題となっているからである。そこで最近では、グラフィックモニタリングを利用し、様々なパラメーターを real time で確認しながら呼吸管理することが当然の方法となりつつある。CO₂SMO PLUS 8100 (以下 COSMO) はその中でも多くのパラメーターの測定が可能であり、その有用性は既に多く評価されている。これは新生児領域においても同様であり、特に ET CO₂ 測定用のアダプターが軽量である事、死腔量の少ない事は小さな肺には何よりも有り難いことである。我々はこの COSMO にパソコンを接続(HP OmniBook XE2)、モニタリングをより視覚的に容易にして用いている。COSMO で測定可能な項目は多数あるが、ディスプレイにはそれらから画面を選択し、好みの画面を作成することが出来、更に他の項目も漸次呼出し可能である。

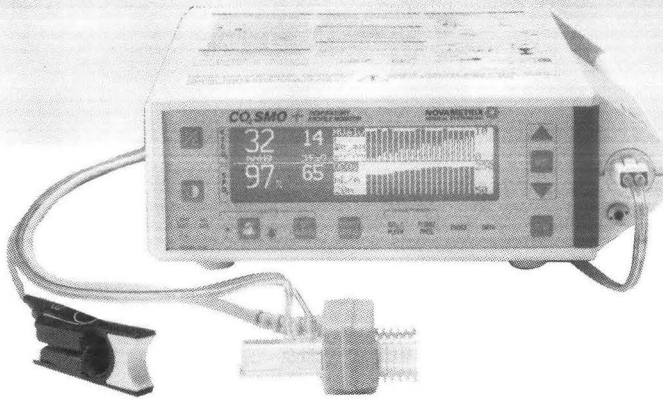
難点を言えば、その画面表示の構成にやや手間取る事と、好みの組み合わせが出来ない場合があることである。しかしながらこれらはソフトの操作で実現可能と思われる。また、SB CO₂ につ

いては何度も試みているが、体重 1500g 以下では VT が少ない為か測定が難しい。従って COSMO の有力な武器である死腔の計算がこれらの極低出生体重児については出来ない可能性があるが、これも Pa CO₂ と ET CO₂ があれば計算出来ることなので極低出生体重児ではそれを用いれば問題ないと考えている。今後、新生児領域でも呼吸管理中のベッドサイドに各 1 台必須モニターと言えよう。



新しい時代の小型・呼吸管理モニタ

PLUS !



人工呼吸器の設定からウィーニングまで

呼吸管理モニタ

コズモプラス8100

医療用具承認番号：21000BZY00330000

人工呼吸中の肺機能を監視する

- ・ $\dot{V}CO_2$ (分時炭酸ガス呼出量)がリアルタイムにわかる
- ・生理学的死腔率の測定が即座にできる
- ・ $\dot{V}CO_2$ 、有効肺胞換気量の変化をトレンドグラフで表示